

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2024 年 10 月 21 日作成 第 1.0 版

研究課題名	生体肝移植術レシピエントに対する術中の輸液投与方法が体液バランスに与える影響についての検討
研究の対象	2009 年 2 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日までの間に横浜市立大学附属病院において生体肝移植術を受けた患者さんのうち、手術当時の年齢が 18 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	生体肝移植手術では手術中に大量の点滴による輸液を必要とします。しかしながら、どのような種類の輸液製剤を投与することが、利益をもたらすのかについてはあまり分かっていません。本研究では、術中の輸液製剤を選択、投与方法が体液バランスなどに与える影響について検討します。
研究の方法	術中の麻酔記録を含む診療録から情報を収集して、術中の輸液投与方法が体液バランスなどに与える影響について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2024 年 11 月 14 日（研究機関の長の許可日）～西暦 2026 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2024 年 11 月 14 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 術前患者背景情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、BSA、既往歴、Child-Pugh 分類、MELD スコア、ASA 分類、SOFA スコア、APACHE II スコア等 血液検査の結果：血液学的検査、生化学的検査、凝固機能検査等 手術情報：術式、麻酔時間、手術時間、術中 In/Out バランス、バイタルサイン、術中検査の結果、術中投与薬剤の種類と量等 転帰：術後呼吸状態、人工呼吸期間、腎機能術後 ICU 滞在日数、在院日数、入院中死亡等
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管 理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	当院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 麻酔科 東條 健太郎

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

利益相反	本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者の の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 麻酔科 （研究責任者）東條 健太郎
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 麻酔科 （研究責任者・問い合わせ担当者）東條 健太郎 電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 787 - 2916</p>	